

子ども向け図書館Q&A 2021 ねん・なつ

Q. 図書館は、いつできたのですか？

A. 中央図書館は、平成2年(1990年)7月17日にオープンしました。今年で31年目になります。

Q. 本は何冊ありますか？

A. 中央図書館は、294,065冊です。神栖市の図書館図書室全体では、456,689冊あります。

Q. そのうち、児童書は何冊ですか？

A. 中央図書館は、82,757冊です。神栖市の図書館図書室全体では、140,542冊あります。

Q. DVDやCDはどれくらいありますか？

A. 中央図書館は、DVD7,681点 CD18,847点です。
神栖市の図書館図書室全体では、DVD11,170点 CD24,618点あります。

Q. 1年で新しい本は何冊入ってきますか？

A. 昨年は、中央図書館が、10,752冊です。神栖市の図書館図書室全体では、21,088冊入ってきます。

Q. 1日に、何人の人が来ますか？

A. 昨年は、中央図書館は、1日に422人来ました。その中で、貸出しを受けた人は269人です。
コロナ禍なので、いつもの年より来る人は少なかったです。

Q. 1日に、何冊くらい貸出されますか？

A. 中央図書館は、1日に1,455冊の貸出しがありました。
神栖市の図書館図書室全体では、1日に2,297冊の貸出しがありました。

Q. 一人のお客さんは、一度に何冊くらい借りていきますか？

A. 平均で5冊点です。一度に借りることができる数は、本20冊、雑誌4冊、CD4点、DVD2点です。

Q. 働いている人は何人いますか？

A. 中央図書館で働いている人は、38人です。(そのうち、司書の資格を持っているのは、15人です。)
交替で来ている人もいるので、1日では30人くらいの人が仕事をしています。

Q. 図書館はどんな役割をしているのですか？

A. 神栖市のみなさんが、図書館にある本をつかって、調べものをしたり、読書を楽しんだりして、よりよい生活をおくってもらうために図書館はあります。

Q. たくさんの人に利用してもらうために、工夫していることはなんですか？

A. 図書館の資料は職員が選んでいるのですが、みなさんが借りたくなるような資料を選ぶことを心がけています。みなさんが今どういうものを読みたいか、どんな音楽をききたいか、どんな映画を見たいかなど、いつも考えたり、調べたりしています。そのほか、リクエストやアンケートを受け付けて、みなさんの読みたい本などを買っています。また、図書館に行ってみようかなと思ってもらえるように、おはなし会やこどもまつり、ふゆまつり、一日図書館員体験、講演会やコンサートなど、いろいろなまよしをおこなっています。

Q. 図書館で働いていて、大変なことはなんですか？

A. 調べものをしている人から、すぐには回答できないようなむずかしい質問があったときは、たくさんの本を読み比べたり、インターネットを使ったりして、調べています。そういうときは、大変だなと思うこともありますが、とてもやりがいのある仕事です。

Q. 図書館で働いていて、うれしいことはなんですか？

A. みなさんが、図書館の本やDVDなどを楽しんだり、役立ててくれたりすることがうれしいです。また、調べもののお手伝いや、本の紹介をしてよるこんでもらえたり、おはなし会に参加してくれた人が楽しんでくれたりしている姿を見ると、とてもうれしく思います。

Q. 市立図書館司書の仕事

A. 市民のいろいろな希望にそった図書館サービスを考えて、行うことです。

たとえば、今年4月から「学校★ほんお届けサービス」を始めました。きっかけは去年からのコロナ禍の対応として考えたものです。

【参考】

『図書館においても「人」の存在がサービスの質を左右する決定的な要因になります。膨大な量の資料・情報から限られた予算の中で必要なものを選び、利用者からの質問や相談に適切な資料の提供ができるか否かは、司書の力量にかかっています。』

(出典) 図書館とともだち・鎌倉「司書資格をもつ正職員の新規採用に関する陳情」から

初版 2021. 8. 15

2版 2021. 11. 14